

《 おんせん県おおいた 観光カルテ 説明資料 》

表面

●宿泊旅行の実態

■2019年度延べ宿泊者数（第3四半期まで）及び前年比（%）

- 延べ宿泊者数（国内計）前年比 3.1%増（2,972,764人）
- 延べ宿泊者数（国内計）発地別
 - ・大分県内：前年比△4.9%（452,991人）
 - ・他の発地：前年比増
 - ・福岡県：前年比 1.4%増（809,946人）
 - ・その他九州・沖縄：2.7%増（532,727人）
 - ・近畿：前年比 12.6%増（253,922人）
- 伸び率
 - ・東北・北海道：前年比 17.7%増（45,603人）
 - ・中部：前年比 15.7%増（127,368人）
 - ・近畿：前年比 12.6%増（253,922人）
- 延べ宿泊者数（海外計）：前年比△20.5%（488,149人）
- 国別
 - ・韓国と中国の2国が減少
 - 韓国：前年比△52.1%（169,920人）
 - 中国：前年比△4.3%（58,077人）
 - ・台湾、香港、タイ、その他アジア、その他外国：前年より増
 - 台湾：前年比 11.0%増（93,629人）
 - 香港：前年比 13.1%増（71,017人）
 - ・PWC効果により欧米豪を含むその他外国が前年比 176.7%増（55,801人）
 - ・全体：前年比△1.1%（3,460,913人）

■2019年度延べ宿泊者数推移（第3四半期まで）

- 国内宿泊者数
 - ・8月：前年比△4.1%
 - ・8月以外：各月増（増加率順：5月 6.5%、4月 6.2%、11月 5.2%）
- 海外旅行者
 - ・4～12月：すべて前年比より減
（減少率順：11月△44.6%、9月△43.1%、12月△37.3%、8月△31.7%）

■2020年1月～3月見込等、延べ宿泊人数前年比（2020年1月末現在）

- （参考：九州観光推進機構会員旅行会社 九州各県別宿泊券取扱実績及び見込調査）
- 主要旅行3社、その他の団体ツアー・個人旅行取扱旅行会社及びリアル旅行社計、ネット宿泊取扱主要2社、OTA計における令和元年度1月～3月期と下期の延べ宿泊取扱人数を、大分県と九州計の対前年比（%）で比較
 - 大分県
 - ・リアル旅行社：「その他団体ツアー」 1月～3月期、下期とも対前年比 増
 - ・リアル旅行社：「主要3社」・「その他個人向け」 対前年比 減
 - ・OTA：1月～3月期、下期とも対前年比 増
 - 九州計
 - ・リアル旅行社：1月～3月期、下期とも対前年比 減
 - ・OTA：下期、1～3月とも前年より対前年比 増

○大分県と九州計との比較

- ・1月～3月の方が下期より、九州計と比較し増の傾向

※1月末現在データでのため、2～3月のコロナウイルスの影響は反映されていない。

●大分県欧米豪観光客向け WEB アンケート調査

目的等の詳細は（別紙5）「令和元年度ツーリズムおおいた実施調査事業一覧」参照

■大分県の認知度

○5カ国全体

- ・「確かに知っている」：28.6%
- ・「なんとなく知っている」：32.2%
- ・「TOP2BOX（知っている計）」：60.8%

○傾向

- ・全 体：『男性』が『女性』より高い傾向
- ・エリア別：『欧州（フランス・イギリス）』 認知度 高い
『北米（アメリカ・カナダ）』 認知度 低い
- ・年 齢：若いほど認知度 高い傾向

○観光コンテンツの相対評価 カルテ裏面参照

●大分県インバウンド観光動態調査

目的等の詳細は（別紙5）「令和元年度ツーリズムおおいた実施調査事業一覧」参照

■RWC期間及び2018年度における大分県滞在者の九州地方内の流動（全国籍）

○宿泊者の前日及び翌日の宿泊都道府県（上記5位を記載）

1 欧米豪

① 大分

ア 前日宿泊都道府県

区分	1位	2位	3位	4位						5位
RWC期間	広島県	東京都	京都府	福岡県						熊本県
2018年度	福岡県	大阪府	東京都	千葉県	神奈川県	愛知県	広島県	熊本県	宮崎県	

イ 翌日宿泊都道府県

区分	1位	2位	3位	4位	5位	
RWC期間	東京都	福岡県	熊本県	広島県	大阪府	
2018年度	東京都	福岡県	広島県	大阪府	愛媛県	宮崎県

② 別府市

ア 前日宿泊都道府県

区分	1位	2位	3位	4位	5位
RWC期間	広島県	福岡県	京都府	大阪府	熊本県
2018年度	広島県	福岡県	熊本県	長崎県	鹿児島県

イ 翌日宿泊都道府県

区分	1位	2位	3位	4位	5位
RWC期間	東京都	広島県	福岡県	熊本県	京都府
2018年度	福岡県	広島県	熊本県	鹿児島県	東京都

③ 由布市

ア 前日宿泊都道府県

区分	1位	2位	3位	4位	5位	
RWC期間	福岡県	広島県	大阪府	京都	東京都	熊本県
2018年度	福岡県	熊本県	長崎県	広島県	大阪府	

イ 翌日宿泊都道府県

区分	1位		2位	3位	4位				5位
RWC期間	福岡県	熊本県		広島県	東京都				大阪府
2018年度	福岡県		東京都	熊本県	京都府	大阪府	長崎県	宮崎県	

2 アジア

① 大分市

ア 前日宿泊都道府県

区分	1位	2位				3位	4位	5位	
RWC期間	福岡県	東京都	愛知県	徳島県	長崎県				
2018年度	福岡県	熊本県				佐賀県	宮崎県	愛知県	愛媛県

イ 翌日宿泊都道府県

区分	1位	2位			3位	4位	
RWC期間	福岡県	富山県	山口県	熊本県			
2018年度	福岡県	熊本県			長崎県	大阪府	宮崎県

② 別府市

ア 前日宿泊都道府県

区分	1位	2位	3位	4位						5位	
RWC期間	福岡県	熊本県	東京都	大阪府	広島県	山口県	佐賀県	長崎県	宮崎県	鹿児島県	
2018年度	福岡県	熊本県	長崎県	宮崎県						佐賀県	

イ 翌日宿泊都道府県

区分	1位	2位	3位		4位	5位		
RWC期間	福岡県	熊本県	東京都	長崎県		大阪府	佐賀県	宮崎県
2018年度	福岡県	熊本県	宮崎県		長崎県	広島県	鹿児島県	

③ 由布市

ア 前日宿泊都道府県

区分	1位	2位	3位			4位	5位
RWC期間	福岡県	熊本県	大阪府	広島県	宮崎県		
2018年度	福岡県	熊本県	宮崎県			長崎県	鹿児島県

イ 翌日宿泊都道府県

区分	1位	2位	3位	4位			5位
RWC期間	福岡県	熊本県	佐賀県	東京都	大阪府	長崎県	
2018年度	福岡県	熊本県	長崎県	宮崎県			鹿児島県

●大分県地域観光資源等ニーズ調査

目的等の詳細は（別紙5）「令和元年度ツーリズムおおいた実施調査事業一覧」参照

■日本語・18市町村別の投稿件数とポジネガ比率

○分析ツール“Social Studio”にて、大分県の18市町村に関する日本語投稿のポジティブ・ネガティブなどのセンチメントを判定・分析

※ 日本語投稿 85,214 サンプルうち、“Social Studio”でネガ・ポジ分析できたのは
85,001 サンプル

○投稿数

- ・大分(注：大分県、大分市、双方含む。)を含む投稿数が最も多く全体の 50.8%
- ・別府 24.7%
- ・由布 6.5%
- ・日田 3.6%
- ・宇佐 2.5%

○ポジ／ネガ比率の比較

- ・全体的にポジティブな論調の投稿が多い。
- ・地域別では特に由布、国東半島エリア、日田・中津等でポジティブな反応の投稿が多い。

○ポジティブ投稿の例

・日田

「SL 湯けむり号」運行が Twitter で告知され、拡散とともに鉄道ファンからのポジティブなコメント (164 件)

・津久見

TV 番組「出川哲朗の充電させてもらえませんか？」で津久見市が取り上げられ、番組を見た視聴者が掲示板などで反応(9 件)

・豊後高田

プロ雀士の望月雅継氏が Twitter で豊後高田へのドライブ旅行に関する投稿をしたことがきっかけとなって、同氏のフォロワーの間でポジティブな反応(18 件)

・姫島

飛来する蝶「アサギマダラ」の写真を取り上げて紹介した投稿が Twitter で話題(28 件)

○ネガティブな投稿例

- ・日韓関係に関する話題(大分県への旅行者が減少している話題)
- ・杵築のゴルフ場を訪れる韓国人旅行者の減少
- ・動物愛護に関する非難(佐伯市深島で猫の去勢手術)
- ・旅行者の愚行に対するバッシング(玖珠の大谷溪谷に B B Q で訪れていた旅行者が台風による増水で遭難した事故)など

○カルテ裏面に、大分県地域観光資源等ニーズ調査で抽出した SNS のコメントを、市町村ごとにネガティブ・ポジティブに分けて投稿者の国籍とともに掲載

●大分県訪日外国人動向調査

目的等の詳細は(別紙 5)「令和元年度ツーリズムおおいた実施調査事業一覧」参照

■大分旅行の満足度(H29、H30、R1調査との比較)

○対象データ数(調査箇所)

平成 29 年度：495 票(別府駅・由布院駅・大分駅・大分空港・鉄輪)

平成 30 年度：618 票(平成 29 年と同じ)

令和元年が 139 票(別府駅・由布院駅)

(注)

- ・令和元年は、別府駅・由布院駅での調査期間は 1 日のみ(平成 29 年、平成 30 年は、4 日間)
- ・3 年比較では、日韓関係の影響等によりサンプル数、各国ごと人数にばらつきあり

○大変不満(1 点)から大変満足(7 点)まで、7 点満点で、満足度の平均値を算出

○令和元年での満足度の比較

満足度 6.6：韓国、その他アジア、北米

満足度 6.5：欧州

満足度 6.3：香港、豪州

満足度 5.6：台湾

満足度 5.0：その他

○満足度平均値の比較（平成 29 年→平成 30 年→令和元年）

- ・韓国(5.6→5.5→6.6/3年間で+1)
- ・その他アジア(5.5→5.3→6.6/3年間で+1.1)
- ・北米州(5.7→6.5→6.6/3年間で+0.9)
- ・香港(5.9→5.8→6.3/3年間で+0.4)、
- ・欧州(6.3→6.0→6.5/3年間で+0.2)
- ・中国(6.1→5.6→6.1/3年間で±0)
- ・豪州(6.5→5.0→6.3/3年間で-0.2)
- ・台湾(6.0→5.9→5.6/3年間で-0.4)

※ 台湾は、令和元年の調査で「どちらかといえば不満」が 8.0%あり、3年間の中で、全ての調査国中で、最も高い。

裏面

●エリアごとの動態

- ・(別紙1) 2018年度・2019年 RWC 期間中における九州内の流動、(別紙2)【観光地・温泉地】流動動態データとコメント対比表資料を参照

●魅力を感じるコンテンツ(欧米豪)

○大分県欧米豪観光客向けWEBアンケート調査より、大分の観光コンテンツ 12 種類の魅力度を評価

○絶対評価：トップが 90%強、最低でも 70%強 ※ 総じて高い評価を獲得

○相対評価（上位3位）：

『桜から紅葉、雪まで、日本を代表する四季折々の景色』（94.4%）

『自然がつくり出した雄大な風景』（93.8%）

『大地とともに育まれた歴史・文化を象徴する造形物』（91.6%）が上位3位

○年代別：年齢が若いほど全体的に評価が高い傾向

○エリア別：『アメリカ』高評価

『カナダ』やや低い傾向

○これらコンテンツの魅力度

欧米豪を対象とした調査だが、動態データ、SNS 調査の結果とあわせて、観光商品を作る上でのテーマ設定に応用可能

桜から紅葉、雪まで、日本を代表する
四季折々の景色



【解説文】(日本語原案)

日本は春の桜から、秋の紅葉、冬の雪景色まで、四季の変化にともなう美しい風景が楽しめます。四季の変化にあわせて、おいしい料理や温泉を楽しむこともできます。また、スキーも楽しむことができます。

自然がつくり出した雄大な風景



【解説文】(日本語原案)

地球活動によって生み出された数々の絶景に出会うことができます。雄大な草原や季節によって表情を変える山々、植物など多くの楽しみがあります。火山活動やプレートの移動がつくり出した島や滝も絶景です。様々なアクティビティやドライブ、ツーリングを楽しめるのも魅力です。

大地とともに育まれた歴史・文化を象
徴する造形物



【解説文】(日本語原案)

自然・歴史・文化は、様々な見事な造形物を多数残しています。八幡社の総本宮「宇佐神宮」や国宝に指定されている九州最古の木造建築物「富貴寺」、岩壁を彫りつくり出した国宝「白杵石仏」、日本一の径間を誇る「石橋」など、国内で歴史価値の高い遺産は日本の歴史を知る上で見るべき名所です。

●エリアごとに対するニーズ調査

・(別紙2)【観光地・温泉地】流動動態データとコメント対比表を参照

【参考】日本人・大分の観光検索ワード上位の単語

○大分県地域観光資源等ニーズ調査

- ・大分県に関する旅行者の投稿のジャンルを「観光地」、「食事」、「宿泊」、「お土産」、「移動」の5種類に分類し、それぞれに関連した投稿を収集するためのキーワードを日本語で作成
- ・Salesforce社のソーシャルリスニングツール“Social Studio”の分析機能を用いて、各キーワードで収集した投稿データを3ヶ月ごとに分割し、期間中の投稿からランダムに1000件を抽出してその投稿の中に含まれる語句を分析、上位の単語50個を抽出
- ・抽出した上位の単語50件の中から、テーマに沿った語句を目視で抽出し、抽出した語句をもとに投稿データを参照の上、実際の投稿例を抽出
- ・「観光地」に関する話題として、全てのシーズンのトップ10内に、「大分」、「別府」、「名所」が出現
- ・「温泉」、「地獄」も、すべてのシーズンで上位50件以内に出現
- ・11月～1月に、「紅葉」、「耶馬」が登場
コメントに、紅葉だけではなく初夏(新緑)のシーズンを勧める投稿もあり
- ・2～4月に、「臼杵」、「野津町」、「臼杵市」や、「風連鍾乳洞」の関連単語が出現
- ・8～10月に、「名物」が3位に出現
※ 特に重点的に使われる検索キーワードになっていることが窺える。
- ・「飲食」の話題
8～10月には、「ランチ」が30位台から13位に上昇
- ・「移動」の話題
シーズンを通して、「バス」が「特急」、「列車」より上位に出現
8～10月には「ゆふいんの森」が50位以内に出現している。

【参考】旅マエ・旅ナカの情報収集(R1 調査)

○大分県訪日外国人動向調査において、「旅マエ(大分旅行の参考にした情報)」と「旅ナカ(大分滞在中に参考にしたい情報源)」を調査

「旅マエ(大分旅行の参考にした情報)」

- ①宿泊予約サイト(68.3%)
- ②SNS(53.8%)
- ③その他インターネット(38.4%)
- ④トリップアドバイザー(22.2%)
- ⑤旅行会社HP(18.1%)

○国別の特徴(%が高い国又は地域)

- ・旅行ガイドブック平均(15.6%)：欧米(20.5%)
- ・個人ブログ平均(7.9%)：韓国(33.3%)
- ・地方観光協会HP平均(4.5%)：香港(11.8%)

「旅ナカ(大分滞在中に参考にしたい情報源)」

- ①Googleマップ(57.6%)
- ②観光案内所(空港除く)(25.9%)
- ③旅行ガイドブック(有料)(15.1%)
- ④トリップアドバイザー(14.4%)
- ⑤宿泊予約サイト(12.2%)

○国別の特徴(%が高い国又は地域)

- ・観光案内所(空港除く)の利用平均(25.9%)：欧州(46.2%)、韓国(41.7%)

※ SNS調査でも、宿泊サイト(国内)やGoogleマップ、トリップアドバイザーの利用が窺えるコメントがあり、情報発信手段として、これらデジタルの活用は重要

● ツーリズムおおいたからのご提言(地域協働による周遊促進)

前提

○ 観光素材に対する地元と来訪者との評価のGAPを確認

- ・ 双方の評価の違いを把握し、認識することがスタートライン

提言等

- ・ 評価を受けた素材はさらに磨き商品化、地域として売りたい素材は、どうしたら売れるかを考える。そして、ニーズに応える商品開発力などを地域で備え、「受入体制の整備」、「効果的な情報発信」、「検証・評価」、「更なる改善」と高速PDCAを回し続けることで旅行者の満足度UPを目指すことを提言します。
- ・ 旅行者の満足度UPは、必ず地域の滞在時間の延伸、消費額UPにつながります。
- ・ ツーリズムおおいたも、地域との協働による地域魅力の底上げをサポートします。

★その他

- ・ 4調査の報告書は、年度末に会員HPにアップ